

発行日
1957. 7. 13
瑞中
生徒会

原爆が落ちる前の広島
 は寂なりはいあつたのが
 原爆が落ちてからは
 寂も何にもなくなつてい
 こ。あつた物というは鉄骨
 のドームはひびひびひび
 りひびひび。学校ひんは
 つくり建てるの団地のま
 にびびひびひび。また人々
 は焦心地からほとんど
 随分て片の所では人達
 は焦こひびひびひびひび
 いる。助つた人々も背中
 には死んでゐるという
 息に倒れ、週同以内
 には死んでゐるという
 お腹に赤ちゃんを
 放射能を受けてお腹
 の赤ちゃんにまで影響
 を受けて奇形児生ま
 れたりしてとても気が持
 ち悪かつた。今ではア
 メリカでも連で
 ホタテも押せば大型

予言を見て
三年A組手取選手
本當にきりこ雲かぞ
かお湯になるなんて
本當に手の皮が垂れ下
か。てしまふなんて思
えなかつた。もうで特撮
映画を見てみたんだっ
た。いくら敵国だから
という実験的に原
人々に「なんと言えは
いのか。平和記念碑だ
つたか良く知らなけ
ど。安らかに眠って下
さい。誤ちは繰り返し
ません」
ど本當に安らかに眠
って下さい。なんて言
えるか。まだ起きて
下さい。とでも言
た方がいんじゃない
だろうか？
あの映画を見て私

見て感觸心を書いています。
すので紹介します。

原爆映画
「予言」を見ろ。

おつてゐる。かゆいそう
だと思つても爆心地から
16km離れた所でも厚爆
の性能が十分に発輝
さすからである。ま
う二度と再び戦争

命を何だと思つてゐるんだらう。人間はモルモットじゃなりのに。でも一瞬の内に何も知れず死んでしまつた人はまた

三年人組川上佳房
僕け意外に戦争時
画が好く云々良く見て、

してアメリカなどになにかおこなうに原爆
すこし爆弾をつくって、なにも早中のどかに
るとは知らないうちに、捨て平和な世界にし

い。本當に苦しいのは、に平等に仲間く
 ぶ余年に、てゐる。た。らせた。ら。て。出。で。い。い
 その影響を、受けて、苦に。。

るのたけいじ、予言を
見て既成で見る戦争と
は、また違つ悲愴さを
見たように思う、とても
人間のつくものやうなもの

の所に落ちるとは思
つておいたのに。
アメリカの原爆の実験
を見たが落ちたと思
つたら「死んだ」と同
たかも知れない。

しんざいる人達、人の影
かきみつけた壁の当時
そこにすわつてみたであ
ろ、人は今の微が持
ちだされてゐる世の中

7/6 (火) 10時よりTBSテレビで

放映された原爆映画『予言』の

映画会を7月14日(木)の放課後

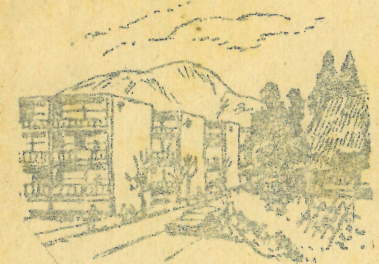
より一階の立見樂室にて行は

参加は御自由です。(先着順)也

2:00



原爆の被害は戦後になつても消えることの出来な物と



もとんな目で見つめて
 いるだろう？
 許せない。許せない。
 少なくとも私は絶対に。
 許しちゃうワナイ。今
 許したなら米軍の前に
 自分の傷口をさらけ
 出した人々に人を人
 もあつかめぬわがた

